

■ 戦略経営研究会 156th ミーティング 議事録

日 時：2024年2月3日(土) 14:00-16:30

場 所：竹橋／ちよだプラットフォームスクウェア会議室+Zoom

テーマ：現地駐在員の見た不思議の国インド ～インド経済 10 年の変化～

発表者：本田毅さん（総合商社）

参加者：13 人（コーポレート部門職、大学教員、ビジネス研修講師、会社経営、会社員、  
公務員、FP、コンサルタント、NPO 法人理事長、行政書士、司法書士等）

目次：

1. イントロダクション
2. 言語・民族
3. 宗教
4. 人物
5. 人口
6. 経済
7. 政治・外交
8. 社会・国民性
9. インドで考えたこと

発表：

1. イントロダクション

総合商社に勤務して、約 30 年になります。海外駐在は、インド、アメリカ、ブラジル、赤道ギニア（長期出張）を経験しました。インドには 2 回駐在を行い、通算 7 年半となります。昨年までコルカタにいました。

みなさんのインド人のイメージはどんなものでしょうか？ 頭にターバンを巻いているというイメージではないでしょうか？ それはシーク教徒です。インド人全員が頭にターバンを巻いているわけではないです。また、タージマハルが思い浮かぶのではないのでしょうか？ 私の趣味の一つは世界遺産ですが、本当に美しいです。貧困も思い浮かぶのではないのでしょうか？ ガネーシャが思い浮かぶ方もいるかもしれません。カレーとともにナンが思い浮かぶ方もいるかもしれません。ちなみに、ナンはインドの家庭では普通食べることがありません。外のレストランでないと食べられませんし、バターチキンなど北インド料理で提供されるものです。

インドの国土面積は 3,287 平方キロメートルあります。世界第 7 位です。日本の 9 倍あります。デリーからチェンナイまで、飛行機で 3 時間かかります。ちなみに、インドはマンゴーの原産地とされており、生産量も世界一です。州ごとにマンゴーの特色があります。インドは暑くミツバチがいないので、受粉はハエが行います。

## 2. 言語・民族

インドの主要言語は 122 とされています。ルピー札にはその中でも代表的な 17 言語が記載されています。ヒンディー語は一応公用語ですが、母語とするのは 14 億人の人口のうちの 4 億人といわれています（諸説あります）。イギリスがインドを植民地とした功罪は様々ですが、功の一つに、インドの各地が鉄道でつながったことと、インド国内で異なる母語話者が英語でコミュニケーションがとれるようになったことが挙げられます。たとえば、ヒンディー語とタミル語では文法が異なりますので、言葉が通じません。民族としてはインドアリア系が約 78%、ドラヴィダ系が約 20%とされます。紀元前 1500 年ごろ、アリア人のインダス川流域に侵入したとされます。言語、民族が地域により異なっていますので、インド人とひとくくりにはできません。なお、過去 50 年で 230 の言語が消滅したとされています。

## 3. 宗教

ヒンドゥー教の聖地は数多くありますが、ガンジス川沿いのバラナシはその中でも最大の宗教都市で、毎年 100 万人以上のヒンドゥー教徒が集まります。インド人はお祭りが大好きです。ヒンドゥー教の二大神様はシヴァとヴィシュヌです。ブラフマーも合わせて三大神と言われますが、ブラフマーはあまり人気がありません。ヴィシュヌには 10 の化身があるとされます。その一つがクリシュナです。最も人気があります。インドの叙事詩「ラーマヤナ」の主人公、ラーマはヴィシュヌの化身とされます。ブッダもまたヴィシュヌの化身とされます。私が駐在していたコルカタの有名なお祭りはドゥルガー・プージャです。ヒンドゥー教の女神、ドゥルガー（シヴァの妻）を祀ります。盛大です。2 年前にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

インドの人口の約 80%がヒンドゥー教を信仰しています。イスラム教徒は約 15%です。それでも 2 億人です。宗教の違いで、イスラム教国としてパキスタンはインドから独立したわけですが、それでも 2 億人います。同じく元々インドのベンガル地方東部だったバングラデシュも人口 1.7 億人のイスラム教の国です。タージマハルはインドがイスラム王朝だった時の王妃のお墓です。シーク教徒の中にはインドからの独立を目指す人たちがいます。先ごろ、カナダ在住の独立運動者が暗殺されましたが、インド政府がかかわった可能性があるとの報道もあります。シーク教徒は 2.2%しかいないですが影響力があります。ジャイナ教は仏教徒と同じくバラモン教に対する新興宗教として生まれました。信仰のために素っ裸で過ごしたり、虫を殺さなかったり、肉食主義だったりします。野菜でも土の中に生育するものは食べないという、厳格なベジタリアンです。たとえば、じゃがいもには地下茎につく虫を殺さないために食べません。ただし、ジャイナ教徒はビジネスエリートが多いです。ゾロアスター教はペルシアの発祥ですが、インドでは西部に多く居住しています。ゾロアスター教徒としては、タタ財閥が有名です。インドには、これらの宗教が共存しています。一説ではヒンドゥー教だけで 33 百万神がいるとされています。基本的にお互いの宗教を尊重しています。

## 4. 人物

現在、世界でインド系の人物が活躍しています。グーグル、ユーチューブ、マイクロソフト

の CEO はインド系です。世界銀行の総裁、英国の首相もインド系です。ウィキペディアでインドの最も有名な人という記事がありました。ブッダ、ガンジーの次が、インドの詩人、タゴールです。ノーベル文学賞の受賞者です。いまでも人気があります。インドで一番の富豪は、ムケシュ・アンバニです。リライアンス・インダストリーズの会長です。世界ランキングでも 12 位です（ブルームバーグ・ビリオネア）。ムンバイに 27 階建ての自宅があります。世界一贅沢な個人宅と言われています。

## 5. 人口

インドの人口は 14 億人です。パキスタン・バングラデシュを含めると、旧インド全体で約 18 億人となり、全世界の 2 割以上を占めます。インドの人口は 2050 年ごろ約 17 億人でピークになるとされています。人口ボーナスが期待されています。平均年齢も 27 歳ですので、若い力が多く、パワーがあります。人口については課題もあります。男女比率の不均衡です。生誕時の男女比率は男 1.13 : 女 1 です。男性優位の社会であることが反映されています。インドは教育の充実に力を入れています。教育関連予算は国家予算全体の 4.5% になります（日本は約 3% です）。

## 6. 経済

投資先としてのポテンシャルがあります。世界一位の人口大国であり、生産年齢人口も増加しています。所得は増加傾向にあり、中間層も拡大の見通しです。しかし、課題もあります。巨大な人口と国土をカバーするインフラ不足が深刻です。また、一人当たりの実質 GDP で見るとまだまだです。2,400 ドルで世界 145 位です。貧富の差が激しいです。富裕層と中間層が経済を引っ張っている状況です。セクター別に見ると、第三次産業が 54% を占めます。第二次産業の強化が課題です。モディ政権は「Make in India」と「Self-reliant India」を進めています。電力は石炭火力が中心です。COP26 で「2070 年までのカーボンニュートラル達成」を宣言しました。2030 年には再生可能エネルギーが過半となる見込みです。

## 7. 政治・外交

原油について、近年、ロシアから一番多く輸入しています。軍備もロシアとの関係が深いです。米国が支援していたパキスタンとの対立という歴史的背景もあります。全方位外交を展開しています。最近ではグローバルサウスの盟主としてプレゼンスを高めるために様々な取組をしており強かです。そのために、先ごろの G20 でも議長国の地位を利用しました。インドはチャイナタウンがほぼない国です。中印国境紛争も続いており、衝突により死傷者が出ています。

選挙が大好きですし、政治のお話しも大好きです。投票率はかなり高いです（地域によって投票率は 90% 以上になります）。主要政党は国民会議とインド人民党 (BJP) などです。国民会議はネルー以降、54 年にわたり政権を維持してきましたが、ヒンドゥー教至上主義団体をベースとする BJP にその座を譲りました。今年の総選挙も BJP の圧勝が予想されています。

## 8. 社会・国民性

インドと一括りにできず、モザイクというイメージです。地域性が強いです。生活に宗教が根差しています。混沌、雑多でありつつ、インクルーシブがあります。民族グループが強固です。たとえば、4大ビジネスコミュニティ（パールシー、マルワリ、グジャラーティ、チェティアール）です。いずれも、とんでもない金持ちです。カーストに基づく差別は違法ですが、カースト制（ヴァルナ・ジャーティ制とも言います）が根強く残ります。しかし、インターネット・ITの普及により、若者の行動様式は変化しつつあります。たとえば、結婚相手をアプリで探すようになってきています。飲食についてはベジ、ノンベジが明確に分けられており、あらゆる食品にそれぞれの区分がマークで表示されています。ベジタリアンの存在感があります。また、新しいものが好きで、適応力もあります。ネットトランザクション（ネット取引）は日本円で1兆2千億円ほどになりました。電子決済も進んでいます。

## 9. インドで考えたこと

インドにはジュガードの精神があります。うまいこと創育工夫をして解を導くという感じですね。日本人からすると、あり得ないと感じることもあります。低コストで効率的に問題を解決しています。ジュガードの精神は全インドに根付いています。これは、イノベーションマインドと言えます。日本でも、インドを見習って、ゴールに辿り着くためには見栄えが悪くてもかまわないというマインドが必要かもしれません。また、D&I、多様性とインクルージョンは、日本に足りないものではないでしょうか？

日本人のインドへの固定観念が強過ぎるように感じます。インドに対するバイアスはずしてほしいです。インドにいるときはインド人と同じように行動することが大切です。とはいえ、私も1回目のインドでは馴染むことができませんでした。しかし、2回目では振り切れました。カレーは素手で食べたほうがうまいと感じるようになります。こういったことは、お互いの尊重につながります。もちろん、ひどい人も多いです。日本人からすると自分に過剰な自信を持つ人も多く、相手に言葉が通じなくても気にせず話しかけてくる人もいます。日本人ももっと肩の力を抜いて柔軟に考えても良いのではないかと思います。インド人は日本が大好きです。

以上